

学校通信

学校教育目標：「社会人基礎力の育成」

令和2年6月5日 第8号

四万十町立大正中学校



未来スイッチ（総合的な学習の時間）

自分たちの未来は、自分たちで切り拓いていく！！大正中学校では生徒たちがそのような姿に成長していくことを願って総合的な学習の時間に取り組んでいます。5月26日（火）に1年生と3年生が未来スイッチに取り組みました。1年生は導入として「AIに負けない人間力」と題しまして、校長先生が講義を行いました。生徒達も真剣に「AIに負けない人間力」について考えていました。生徒達からの考えとして「想像力」「コミュニケーション力」「新しく発見する力」「エンターテインメント」などが取り上げられました。



3年生は、今後迎える新しい社会で生かせることのできる資質・能力を育成することをねらいとして、大正地域の企業等から出題される「正解のない問い」を解決しようとする、探究・課題解決型の学びを行なっています。学校で学んでいることが地域企業や地域社会に貢献できるように学習の取り組みも工夫しています。



企業等名	課 題
呑んで家	大正地域（四万十町、高知県）の食材を使った素晴らしいふるさと（大正）をイメージ（表現）した新しいメニューの開発を提案してください。
四万十町 森林組合 （集成材工場）	四万十ヒノキを用いて、コロナウイルス対応の視点を持って、巣ごもり生活に役立つグッズを開発してください。
株式会社 無手無冠	未来の愛酒家の育成：我々地元の酒をアピールできる、高知や日本、世界に広がる大正中学校発信のオリジナル（パッケージやラベル等の）デザインを創造してください。



呑んで家の三谷さん、森林組合の林さん、無手無冠の福永さんにお越し頂きました。それぞれのグループにおいて生徒たちはこれまで温めてきたアイデアを出して、講師の方々と議論を交わしていました。10代ならではの発想やアイデアがきっと生かされると思います。新しい価値を生み出すための発想力、そして、実用化に向けての課題解決力を存分に発揮して地域に貢献してくれることでしょう。

また、講師の方々が帰られる時には、道徳で学んだ「出迎え三步、見送り七歩」を実践していました。おもてなしの心と感謝の態度がしっかり、あらわされていました。知識や技能はもちろん、心や態度も磨き上げ、社会人基礎力を高めています。3年生のこれからが、将来がとても楽しみとなりました。

新しい図書室の本を自分たちで選ぼう！（選書会）

2年生 題名「挨拶は言葉のスキンシップ」